



学校教育目標 社会に貢献しながら、  
自立する生徒の育成  
～気づき、考え、実行する～

# やまゆり

校訓 「和の心」

指導重点

- ① 居心地がよく、やる気のある  
学級集団・学校づくり
- ② 確かな学力の育成
- ③ 健やかな身体の育成
- ④ 豊かな心の育成
- ⑤ 生徒の良さを伸ばし、課題を  
解決するための「連携・協働」を推進する



## 2学期後半です！

10月は、第1回教達検に始まり、公開研究会、キャリア講話会、親善音楽会等がありました。11月に入ると、第2回教達検、生徒会役員立会演説会・投票、授業参観(福祉講話)等が予定されています。

いよいよ2学期も後半に突入です。この時期、心がけたいのは、**落ち着いた生活**です。一人ひとりが落ち着いた学校生活を心がけてください。自分の立場や役割、言葉遣いやマナーから、仲間・親・先生等との関係を見つめ直し、じっくり自分自身と向き合う時間を大切に過ごしてください。

あなたは、相手の立場を尊重して、思いやりの心で接していますか？

あなたは、自分の気持ちだけを優先して、他人を不快な思いにさせたり傷つけたりしていませんか？

ちょっとしたことから仲間とのトラブルが起こります。“望ましい人間関係”ってどんな関係ですか？

部活動では、新人大会が始まりました。1・2年生は、3年生からバトンタッチされて、**初の公式戦**となります。これまでの練習の成果を発揮してください。これから長い冬の練習が

始まります。1日の練習時間はとても短いですが、効率がよく、効果的な練習を心がけ、達成感のある練習を行いましょ。



The 35<sup>th</sup> Minamitsuru Junior High School English Recitation Contest

緊張したけど、精一杯、頑張りました！

## 英語暗唱大会

10月22日(火)、南都留地区英語暗唱大会(教育プラザ都留)がありました。

本校から、池谷圭胡さん(3年)、佐藤愛維さん(2年)が出場しました。「地区のレベルは高く、リハーサ

ルで全校に発表した時よりも気持ちを込めた発表を披露してくれました。2名とも堂々とした態度で、素晴らしい発表でした」と引率の先生から報告を受けました。また、ALTのマシュー・ルーク先生には、昼休みを中心に、連日アドバイスをもらい、大会に臨みました。

## 学びの宝庫・小中図書室

学校図書室は、子供たちにとって、一番身近にある、本が読める場所です。道志小学校と道志中学校は、一体型校舎のため、両校の図書室は、一体型校舎2階中央に位置しており、共有して利用しています。

全国学校図書館協議会が毎年行っている学校読書調査によると、中学生の1か月に読んだ本の冊数は、2023年6月の調査では、平均5.5冊だそうです。これは、10年前と比べて、1冊余り増えていて、調査開始以来、最も多いそうです。



その一方で、文化庁が9月17日に公表した、2023年度「国語に関する世論調査」では、1か月に本を1冊も「読まない」とした人が、前回調査から大きく増え、初めて6割を超えたといわれています(『読書離れ 全世代で』読売新聞 2024.9.18)。



文部科学省では“子供の読書活動は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにする上で欠かせないものであり、学習指導要領において、重視されている言語活動を充実させるためにも、読書活動の推進は重要”としています。

道志小中の図書室は、担当の児童・生徒や司書の職員が、居心地の良い、癒しの空間を創ってくれていて、連日、多くの子供たちが利用しています。秋の深まりと共に、一冊でも多くの本と出会い、学びが深まることを期待しています。本にしかない魅力を感じてください。